

目標達成計画

作成日： 令和 5 年 6 月 14 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	定期的な運営推進会議の開催が出来ていない。また、開催時の内容についてももう少し、詳細な入居者の様子や実施した研修の内容。また、事故報告やヒヤリハット等の事業所の活動内容の記載方法にも課題がある。	・定期的な運営推進会議の開催 ・GHの詳細な活動内容等を(事故報告なども含め)推進委員の皆さんに知ってもらう。	・2～3か月に運営推進会議を行い、年6回開催する。 ・レクや行事、人の出入り(入居者・職員)だけではなく、事故報告、ヒヤリハットなども含めた報告を行い、具体的な入居者の様子も知って頂くようにする。	次回の開催時まで
2	6	身体拘束委員会はユニット会議と一緒に開催しているが、身体拘束の有無を検討するだけではなく、廃止に向けて取り組む課題を明らかにし、具体的にどのように取り組んでいくのか、現場の創意工夫を引き出しながら職員育成等の検討を行う必要がある。	・身体拘束廃止に向けての意識ををオンライン研修を通して職員全体に周知。 ・身体的な身体拘束ばかりではなく、言語的な身体拘束にも目を向け、拘束委員会の中で職員に周知していく。	・身体的な拘束の検討だけではなく、職員の言葉遣いなども含めた拘束がないかの検討も行う。 ・言語的な身体拘束が見られた場合は、会議内で職員全体に例として挙げ、それについて、管理者が注意するだけではなく、それが適切だったかなど職員全体で考え、個人個人が意識して取り組んでもらう。	6ヵ月
3	35	避難訓練は自主訓練は行っているが、避難訓練計画書を消防署に提出できていない。	・自主訓練を行う際には必ず避難訓練計画書を所轄の消防署に提出する。	・避難訓練を年間計画の中にあらかじめ組みこみ、余裕を持って開催できるよう準備し、提出忘れが無いようにする。	次回の開催時まで
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。